

令和2年度 検索エキスパート研修[特許]実施報告

令和3年3月

令和2年度、独立行政法人工業所有権情報・研修館では、検索エキスパート研修[特許]を2回実施(端末演習のみ座学としたオンライン研修)いたしました。
 本研修は先行技術調査の業務に従事すること等により、特許法についての十分な知識を有する者を対象とし、先行技術調査能力を一層向上することにより、出願及び審査請求の適正化に資する人材の育成を目的にしている研修です。

1. 研修の概要						
(1)日程	第1回			第2回		
	9月28日～10月1日			12月10～11日,15～16日		
(2)開催地	東京都(9月28～29日はオンライン)			東京都(12月10～11日はオンライン)		
(3)申込人数	22名			17名		
(4)参加人数 (分野別内訳)	22名			15名		
	機械・装置	化学	電気・電子	機械・装置	化学	電気・電子
	7名	4名	11名	8名	2名	5名
(5)講師	8名			8名		
2. アンケート結果						
(1)研修全体として	人数	割合	人数	割合		
・非常に知識や能力が向上した (非常に有意義であった)	8名	38%	8名	53%		
・知識や能力が向上した (有意義であった)	13名	62%	7名	47%		
・どちらとも言えない	0名	0%	0名	0%		
・あまり知識や能力が向上しなかった (あまり有意義ではなかった)	0名	0%	0名	0%		
・知識や能力が向上しなかった	0名	0%	0名	0%		
・無回答	1名	—	0名	—		
(2)主な意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・演習形式、討議形式が多く、通常の座学研修では得られない経験ができた ・特許についてもハイレベルで、かつ調査についても審査官レベルの講義が受けられ、受講生と深い議論ができるため、非常に勉強になった ・実習とディスカッションで理解が深まった。また受講生の皆さんのノウハウも知ることができた ・1つの案件を複数人で議論することがないため、4日目のGD討議はいろいろな考え方を聞くことができて有意義であった。 ・実務に近い講習から普段疑問に抱いていた点、調査業務に取り掛かるうえでの観点を知る機会があり、勉強になった。 ・進歩性について、言葉でいろいろな事例を聞いて理解が深まった。 ・ネットの回線、接続状況が個々に異なるため音声聞きづらいことがあった。テレワークの推進によって今後改善されていくと思う。 					
(3)アンケート回収率	21名	95%	15名	100%		